

会誌「ホスピスケア」バックナンバー紹介

通巻号	発行年	内容	講師名	料金（円）
第57号	2018-05-01	30周年記念号 *内容は次ページに紹介		
第58号	2018-11-01	・疾患を区別せず緩和ケアを提供する取り組み ・自分らしく、最期まで生き抜くために	関根龍一 宇都宮宏子	1,000
第59号	2019-04-01	・最期まで“食べる”を支える症状緩和 ～消化器症状ガイドライン2017に基づいて～ ・がん性疼痛の患者さんへの実際の看護介入	久永貴之 小林直子	1,000
第60号	2019-10-01	・オピオイド鎮痛剤の適正使用 ～疑いの目を持ちつつ、患者に寄り添う気持ち～ ・患者支援で知っておきたい眠りの話 ・眠れないと訴える患者への対応と関わり ・がん患者と家族のためのサポートグループプログラム 「がんを知って歩む会」の効果 ～参加者の体験分析～	山口重樹 小川朝生 佐々木千幸 増島麻里子ほか	1,500
第61号	2020-03-01	・終末期がん患者や家族の苦痛緩和に関わる意思を支える ～終末期の苦痛に関わる倫理的な課題について～ ・患者・家族と共に歩むアドバンス・ケア・プランニング ・疼痛マネジメントのアップデート ・がん終末期の呼吸器・消化器症状マネジメント (やるべきこと・試みること・その先のこと)	林より子 石垣靖子 石木寛人 清水正樹	1,500
第62号	2020-11-01	・困った時こそアセスメントに立ち戻ろう！ ～精神症状のアセスメント～ ・人生を支える医療のカタチ ～在宅医療の現場から～ ・人生を支える医療のカタチ ～看護師に望むこと～	前川智子 荒井康之 角田直枝	1,500
第63号	2021-03-01	・ホスピス緩和ケアの進化と多様化 ～変わらぬものと変わりゆくもの～ ・緩和ケアで大切にしていること ・身体と心に触れる診療	志真泰夫 關本翌子 蓮尾英明	1,500
第64号	2021-10-01	・コロナ禍における在宅医療の対応と課題 ・東京都北区における訪問看護ステーションのコロナ禍対応と課題 ・コロナ禍のセルフケア ーこころの充電をしてみませんかー	佐々木淳 平原優美 二宮ひとみ	1,500
第65号	2022-03-01	・「その人らしく生きる」を支えるAYA世代がん患者への看護 ・AYA世代がんの特徴と問題点 ・エンドオブライフ期におけるその人の生と死を考える	千葉育子 細野亜古 長江弘子	1,500
第66号	2022-11-01	・痛みとの付き合い方から、 緩和ケア医ががんの診断～治療を経て感じたことまで ・高齢者や認知症患者の心身の特徴と意思決定支援 ・急性期医療現場の高齢者や認知症患者への看護	田上恵太 成木迅 落合恵	1,500

* 第59号までは、1冊1000円。第60号からは、1冊1500円となります。

会誌第57号 内容

I. ホスピスケア研究会30周年記念行事 「第152回ホスピスケア研究会」より

1. 記念鼎談 「ホスピスケア30年の歩みと今後」

志真 泰夫 筑波メディカルセンター代表理事/日本ホスピス緩和ケア協会理事長

季羽 倭文子 元ホスピスケア研究会代表

丸口 ミサエ 元国立がん研究センター中央病院/ホスピスケア研究会元代表

2. 講演 「つながる・さえる・つくりだす 在宅現場の地域包括ケア」

秋山 正子 マギーズ東京センター長/ (株) ケアーズ代表取締役

(株) ケアーズ白十字訪問看護ステーション統括所長

3. 講演 「がん患者と創る緩和ケアの未来像」

松本 陽子 一般社団法人 全国がん患者団体連合会 副理事長

NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会 理事長

4. シンポジウム 「未来につなげる新たなケアの創造 -がん体験者と共に歩む-」

松本 陽子 一般社団法人 全国がん患者団体連合会 副理事長

NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会 理事長

飯野 京子 国立看護大学校教授

關本 翌子 国立がん研究センター東病院 副看護部長

長谷川 美栄子 東札幌病院副院長

II. ホスピスケア研究会30周年によせて (理事の寄稿)

共通テーマ 「ホスピスケア研究会と私」

III. 活動報告

IV. 関係資料